

2023 中2 1学期期末テスト 対策問題

歌う姿勢についての問題

()の香りを嗅ぐような感じで()吸う	花、素早く
呼吸は()と むらなく吐く	ゆっくり
()をまっすぐに伸ばし、上半身を()させる	背筋、リラックス
おなかだけでなく、()にも()を入れるような感じで吸う	背中、空気
両足を軽く開いて立ち、下半身を()させる	安定
頭の()から上に向かって息が出ていくようなイメージで声を出す	てっぺん
声の響かせ方は()や頬を上げて、左右の()の間に響きを集めるようにする	眉、眉
声を作りだしているのは息のとおり道にある()です	声帯
声唇の間のわずかな隙間に息を通すと、声帯が()する	振動
振動により生まれた音が()()()に共鳴して声になる	喉、口、鼻

記号問題

記号	読み方	意味
	デクレシェンド	だんだん弱く
	クレシェンド	だんだん強く
v	ブレス	息つぎをする
f	フォルテ	強く
※	セーニョ	
D.S.	ダル・セーニョ	セーニョから
mp	メゾピアノ	少し弱く

やさしさに包まれたなら

作詞、作曲者名 (旧姓の合わせて) 松任谷由実 (荒井由実)

※ 歌詞を覚えておくこと

フーガト短調

作曲者名	ヨハン・セバスチャン・バッハ
出身国	ドイツ
いつ頃活躍したか	18世紀初め～中ごろ
どんな場所で音楽の仕事をしていた	礼拝堂や宮廷楽団
出身都市	アイゼナハ
〇〇の父と呼ばれる	音楽
誰からオルガンの基礎を習ったか	兄
音楽の歴史では何時代か	バロック時代
同時代の音楽家で「四季」の作曲家	ヴィヴァルディ
作曲した数	1000曲以上
代表的な曲	メヌエット 長調、トッカータとフーガ、G線上のアリア など

パイプオルガンについて

2～3段の手鍵盤と、()鍵盤が付いた	足
パイプの長さで決まるのは	音の高さ
音色はパイプの何によって決まるか	材質と構造
鍵盤を押すと〇〇が送り込まれ音が鳴る。	空気
パイプの数で多いものは	5,000本
鍵盤の横にあるボタンを何と呼ぶ	ストップ
ストップの役割	音色を調整する

曲の説明について ()から正しいものを選び

フーガとは 始めに示される(メロディ、 主題、 リズム)が、
 (追いかけるような、 組み合わせる、 美しい) 形で作られている
 形式で (協奏曲、 和声音楽、 多声音楽) と言われている。



フーガとは 始めに示される(メロディ、 **主題**、 リズム)が、(**追いかけるような**、 組
 み合わせる、 美しい) 形で作られている形式で (協奏曲、 和声音楽、 **多声音楽**)
 と言われている。

鍵盤楽器について



名前(イタリア語)	チェンバロ
どこで開発された	イタリア
いつ頃	16世紀半ば
音の出し方	弦をはじく
鍵盤を強く押すと音の大きさは	変わらない
フランス語での呼び名	クラヴサン
英語の呼び名	ハープシコード



発明者	クリストフォリ
発明者の国	イタリア
最初の頃の鍵盤数	54鍵盤
現在の鍵盤数	88鍵盤
発明当時の呼び名	ピアノフォルテ
チェンバロとの違い	強弱がつけられる
音の出し方	弦をたたく